

たばこと歯周病

たばこを吸っている人の口



初診の状態 (41歳・男性)

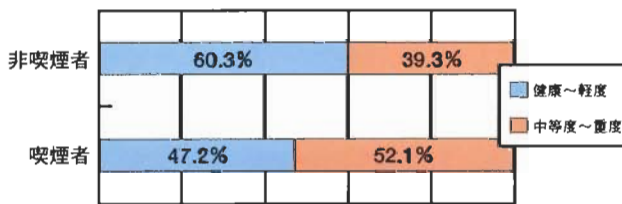
重度の歯周炎・歯肉の腫れもひどく歯並びも乱れている。たばこの影響で歯肉が黒く変色している。また、口臭も強くあり、抜歯にいたる歯もある。



初診の状態 (35歳・男性)

軽度の歯周炎・歯肉が赤く腫れ、ヤニが歯面にべったりとついている。ヘビースモーカーだとなかなか歯肉はよくなる。

喫煙と歯周病の重症度の関係



浜松市歯科医師会調査より

たばこで歯が抜けていく！

喫煙者においては、非喫煙者と比べて中等度～重度の方が多く、健康～軽度の方が少ない。

また、歯周病への喫煙者の危険性は、非喫煙者に比べて約2～9倍も大きいと報告されている。

たばこを吸っていない人の口

たばこの影響がないと1～2ヶ月で歯肉はきれいな状態になります。



初診の状態 (40歳・女性)

軽度～中等度の歯周炎・歯肉が赤く腫れ歯石の付着が見られる。

治療後



プラークコントロールを中心とした治療後、歯肉は健康的なうすいピンク色となり、ひきしまってきている。

たばこの歯周組織（歯の周りの組織）への影響

- ①たばこを吸っていると歯肉が硬くなり歯周病の症状が出にくく**発見が遅く**なります。発見が遅れると治療も遅くなり**症状が進行**してしまいがちです。
- ②ニコチンは**血液の流れを悪く**し歯肉に十分に栄養が運ばれず、**歯肉の回復力が低下**します。
- ③歯周病細菌と戦う白血球などの働きを鈍らせてしまうため、治療を行っても**治りにくく**また**再発しやす**くなります。

たばこの煙の正体

喫煙＝ニコチン依存症(中毒)

たばこの煙には、4000種類以上の化学物質が含まれていると言われています。代表的なものとして、ニコチン、タール、一酸化炭素などが挙げられます。

たばこの煙は、喫煙者が吸い込む**主流煙**と、たばこの先から立ち昇る**副流煙**に分けられ、副流煙には主流煙より有害物質の量がさらに多く含まれています。

【ニコチン】

脈拍を速め、血圧を上げ、末梢血管を収縮させます。ニコチンには依存性があり、たばこをやめにくくしています。

【タール】

一般に「ヤニ」と呼ばれベンゾピレンをはじめ多くの発がん性物質が含まれています。

【一酸化炭素】

血液中のヘモグロビンと結合して、酸素の運搬を妨げるため、酸欠状態に近くなり、心臓に負担をかけることとなります。



禁煙で口の中もこんなに変わります



喫煙していた12年前



治療後



禁煙している現在

プラークコントロールを中心とした治療を行ってきた。赤く腫れていた歯肉、歯石や茶色いタールもとれ、現在ではうっすらと茶渋がつく程度で、きれいな歯肉を保っている。

さあ、愛煙家の皆さん、禁煙に挑戦してみましよう！



社団法人 静岡県歯科医師会

〒422-8006 静岡市曲金3-3-10
TEL.054-283-2591 FAX.054-283-3590
E-mail kensi@s8020.or.jp
URL <http://www.s8020.or.jp>